



2025年11月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社 エスプール 上場取引所 東
コード番号 2471 URL <https://www.spool.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役会長兼社長 （氏名）浦上 壮平
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部担当 （氏名）佐藤 英朗 TEL 03-6859-5599
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年11月期第1四半期の連結業績（2024年12月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年11月期第1四半期	6,131	8.4	261	907.5	198	—	98	△62.2	98	△62.4	98	△62.3
2024年11月期第1四半期	5,658	△7.1	25	△93.3	△13	—	260	13.6	261	13.2	262	14.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第1四半期	1.24	—
2024年11月期第1四半期	3.30	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2025年11月期第1四半期	38,201	8,861	8,871	23.2
2024年11月期	39,714	9,826	9,836	24.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年11月期	—				
2025年11月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	12,313	1.8	502	△32.3	367	△43.6	250	△63.4	250	△63.5	3.19
通期	26,828	5.0	3,074	10.4	2,804	9.1	1,907	△9.2	1,907	△9.2	24.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年11月期 1 Q	79,007,500株	2024年11月期	79,007,500株
② 期末自己株式数	2025年11月期 1 Q	903,855株	2024年11月期	3,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年11月期 1 Q	78,973,645株	2024年11月期 1 Q	79,003,645株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(セグメント情報)	12
(継続企業の前提に関する注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、原材料やエネルギー価格の高騰、為替変動などを背景に、食料品や生活必需品を中心とする物価上昇が続いていることで、消費者マインドを抑制し、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況下、当社グループは、社会的価値と経済的価値創出の両立を経営の基本方針とし、社会貢献性が高く、付加価値の高い事業を複数展開するポートフォリオ経営を推進しております。中でも優良な顧客基盤を有し、高い成長が期待できる「障がい者雇用支援サービス」、「環境経営支援サービス」、「広域行政BPOサービス」を重点注力分野と定め、事業拡大を推進しております。

ビジネスソリューション事業は、売上収益・営業利益ともに大幅増となりました。障がい者雇用支援サービスの設備販売が大きく伸長したことに加え、セールスサポートサービスにおいても大手企業からの大型キャンペーン受託が拡大したことで、いずれも大幅な増収増益となりました。また、環境経営支援サービスについてもカーボンクレジットの大口販売により、売上収益が大きく増加しました。一方、人材ソリューション事業は減収減益となりましたが、コールセンター業務には需要回復の兆しが見られ、減少幅は縮小しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は6,131百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は261百万円（前年同四半期比907.5%増）、税引前四半期利益は198百万円（前年同四半期は13百万円の税引前四半期損失）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は98百万円（前年同四半期比62.4%減）となりました。

2025年11月期第1四半期連結累計期間 連結業績

（単位：百万円）	2024年11月期 第1四半期	2025年11月期 第1四半期	増減率
売上収益	5,658	6,131	8.4%
営業利益	25	261	907.5%
税引前四半期利益（△は損失）	△13	198	－%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	261	98	△62.4%

当第1四半期連結累計期間のセグメント経営成績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

〔事業概要〕

ビジネスソリューション事業では、企業のサステナビリティ経営の推進を支援するサービスや、企業の業務の一部を受託するアウトソーシングサービスを提供しています。前者においては、株式会社エスプールプラスが、障がい者の就労に適した農園を企業に貸し出し、主に知的障がい者の採用・教育から定着までを支援するサービスを提供しており、株式会社エスプールブルードットグリーンでは、温室効果ガス排出量の算定や環境情報の開示に関するコンサルティング、カーボンオフセット仲介など、企業の環境経営を支援するサービスを提供しています。

後者のアウトソーシングサービスでは、株式会社エスプールグローバルが、複数の自治体の行政業務を一括で受託する広域行政BPOサービスを提供しています。また、株式会社エスプールリンクは、アルバイトやパートの採用業務の一部を代行するサービスを提供しており、株式会社エスプールセールスサポートでは、対面型の会員獲得業務や販売促進業務を行っています。さらに、株式会社エスプールロジスティクスでは、通販商品の発送を代行する物流サービスを行っています。

〔当第1四半期連結累計期間の経営成績〕

障がい者雇用支援サービスは、管理収入の積み上げに加え、設備販売が前期からの繰越納品も寄与して大きく伸長した結果、大幅な増収増益となりました。営業活動においても、新規・既存顧客ともに堅調に推移しました。環境経営支援サービスは、カーボンクレジットの大口販売により、売上収益が大幅に増加しました。また、下期に納品が集中するコンサルティングサービスの受注も順調に積み上がっています。広域行政BPOサービスは、定額減税に関連した国策業務がピークを過ぎたため売上収益は減少しましたが、大型案件が控える下期に向けた営業活動は着実に進展しました。その他のサービスでは、セールスサポートサービスが、全国の主要都市への拠点開設効果や、商品特性に合わせた効果的なキャンペーンの実施実績を背景に、大手メーカーからの大型キャンペーンの受託が拡大し、売上収益を大きく伸ばしました。採用支援サービスでは、応募受付業務の自動化が進んだことで請求単価は低下したものの、処理件数の増加により売上収益は堅調に推移しました。一方、ロジスティクスアウトソーシングサービスは、売上収益は若干増加したものの、新センターの収益改善の遅れから苦戦が続きました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は3,689百万円（前年同四半期比30.5%増）、営業利益は552百万円（前年同四半期比206.5%増）となりました。

②人材ソリューション事業

〔事業概要〕

人材ソリューション事業は、人材派遣サービスを主力とする株式会社エスプールヒューマンソリューションズが提供するサービスで、コールセンター等のオフィスサポート業務、スマートフォンや家電製品等の店頭販売支援業務、建設業界向けの施工管理業務に関する人材サービスを展開しています。サービスの特徴は、フィールドコンサルタント（FC）と呼ばれる同社の従業員と派遣スタッフをチームで派遣する「グループ型派遣」の形態を採用している点になります。派遣先に常駐するFCが派遣スタッフを現場で手厚くフォローすることで、未経験者を短期間で育成できるだけでなく、定着率の向上にもつながり、顧客満足度の向上とシェア拡大に貢献しています。

〔当第1四半期連結累計期間の経営成績〕

主力のコールセンター向けの人材派遣サービスにおいては、営業日数が少なかった影響などにより、売上収益は減少したものの、前期後半から緩やかに需要回復の兆しが見られており、減少幅は縮小しました。これまで派遣スタッフの退職者数が採用者数を大きく上回る状況が続いていましたが、ようやく均衡するところとなっています。販売支援業務については、人材の不足感が強いインバウンド関連の業務に注力しましたが、採用条件の厳しさから、派遣スタッフの稼働を計画通り伸ばせず、減収となりました。また、前第4四半期に開始した施工管理技士の人材派遣サービスは、当第1四半期で黒字化し、堅調なスタートを切ることができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は2,464百万円（前年同四半期比13.6%減）、営業利益は161百万円（前年同四半期比37.1%減）となりました。

2025年11月期第1四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上収益（単位：百万円）	2024年11月期 第1四半期	2025年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	5,679	6,153	8.4%
ビジネスソリューション事業	2,827	3,689	30.5%
人材ソリューション事業	2,852	2,464	△13.6%
調整額	△20	△21	－%
合計	5,658	6,131	8.4%

営業利益（単位：百万円）	2024年11月期 第1四半期	2025年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	436	713	63.5%
ビジネスソリューション事業	180	552	206.5%
人材ソリューション事業	256	161	△37.1%
調整額	△410	△451	－%
合計	25	261	907.5%

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から1,711百万円減少し、7,065百万円となりました。税金及び配当金等の支払いにより現金及び現金同等物が1,463百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は、前連結会計年度末から198百万円増加し、31,135百万円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて、新規農園の建設や既存農園の増設をしており、有形固定資産が186百万円増加しております。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から650百万円減少し、10,876百万円となりました。法人税等の支払いにより未払法人所得税等が323百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は、前連結会計年度末から102百万円増加し、18,463百万円となりました。資金調達等により借入金（非流動）が121百万円増加しております。

③資本

当第1四半期連結会計期間末の資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益により98百万円増加し、一方、第25期期末配当790百万円、自己株式の取得273百万円によりそれぞれ減少し、8,861百万円となりました。

④当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は前連結会計年度末から1,463百万円減少し、2,351百万円となりました。各活動によるキャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比482百万円減少の338百万円の収入（前年同四半期は820百万円の収入）となりました。これは、税引前四半期利益が198百万円、減価償却費及び償却費が901百万円、営業債権及びその他の債権の減少が183百万円、営業債務及びその他の債務の減少が293百万円、その他の増減が205百万円、法人所得税の支払額が469百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比537百万円減少の440百万円の支出（前年同四半期は977百万円の支出）となりました。これは、主に株式会社エスプールプラスの新農園建設等による有形固定資産の取得による支出404百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、1,361百万円の支出（前年同四半期は88百万円の収入）となりました。これは、長期借入による収入500百万円、長期借入金の返済による支出278百万円、リース負債の返済による支出545百万円、配当金の支払額763百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月14日に公表いたしました2025年11月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,814	2,351
営業債権及びその他の債権	4,223	4,040
棚卸資産	276	253
その他の流動資産	462	420
流動資産合計	8,777	7,065
非流動資産		
有形固定資産	14,585	14,771
使用権資産	14,798	14,720
無形資産	113	118
その他の金融資産	1,134	1,154
繰延税金資産	304	369
非流動資産合計	30,937	31,135
資産合計	39,714	38,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,091	797
借入金	5,616	5,716
リース負債	1,782	1,767
その他の金融負債	23	19
未払法人所得税等	517	194
その他の流動負債	2,495	2,382
流動負債合計	11,527	10,876
非流動負債		
借入金	3,635	3,756
リース負債	12,969	12,918
引当金	1,752	1,785
繰延税金負債	3	2
非流動負債合計	18,360	18,463
負債合計	29,887	29,339
資本		
資本金	372	372
資本剰余金	246	246
利益剰余金	9,418	8,727
自己株式	△0	△274
その他の資本の構成要素	△200	△200
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,836	8,871
非支配持分	△10	△9
資本合計	9,826	8,861
負債及び資本合計	39,714	38,201

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
売上収益	5,658	6,131
売上原価	4,002	4,021
売上総利益	1,655	2,110
販売費及び一般管理費	1,627	1,875
その他の収益	7	26
その他の費用	9	0
営業利益	25	261
金融収益	0	0
金融費用	39	63
税引前四半期利益 (△は損失)	△13	198
法人所得税費用	△274	99
四半期利益	260	98
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	261	98
非支配持分	△0	0
四半期利益	260	98
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	3.30	1.24
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
四半期利益	260	98
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	1	△1
純損益に振り替えられることのない項目合計	1	△1
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△0	1
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△0	1
税引後その他の包括利益	1	0
四半期包括利益	262	98
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	262	98
非支配持分	△0	0
四半期包括利益	262	98

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融 資産	合計
2023年12月1日残高	372	246	8,109	△0	△0	△221	△222
四半期利益	—	—	261	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△0	1	1
四半期包括利益合計	—	—	261	—	△0	1	1
配当金	—	—	△790	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△790	—	—	—	—
2024年2月29日残高	372	246	7,580	△0	△1	△219	△220

	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	合計
	合計		
2023年12月1日残高	8,505	△10	8,494
四半期利益	261	△0	260
その他の包括利益	1	△0	1
四半期包括利益合計	262	△0	262
配当金	△790	—	△790
所有者との取引額合計	△790	—	△790
2024年2月29日残高	7,978	△11	7,966

当第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		合計
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	
2024年12月1日残高	372	246	9,418	△0	△0	△199	△200
四半期利益	—	—	98	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1	△1	0
四半期包括利益合計	—	—	98	—	1	△1	0
配当金	—	—	△790	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△273	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△790	△273	—	—	—
2025年2月28日残高	372	246	8,727	△274	0	△200	△200

	親会社の所有者に帰属する持分	非支配持分	合計
	合計		
2024年12月1日残高	9,836	△10	9,826
四半期利益	98	0	98
その他の包括利益	0	0	0
四半期包括利益合計	98	0	98
配当金	△790	—	△790
自己株式の取得	△273	—	△273
所有者との取引額合計	△1,063	—	△1,063
2025年2月28日残高	8,871	△9	8,861

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△13	198
減価償却費及び償却費	777	901
金融収益	△0	△0
金融費用	39	63
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	269	183
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1	23
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△16	△293
その他の増減	196	△205
小計	1,253	869
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△10	△61
法人所得税の支払額	△421	△469
営業活動によるキャッシュ・フロー	820	338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△834	△404
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形資産の取得による支出	△49	△14
敷金及び保証金の差入による支出	△145	△25
敷金及び保証金の回収による収入	51	3
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△977	△440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	1,500	500
長期借入金の返済による支出	△178	△278
リース負債の返済による支出	△466	△545
自己株式の取得による支出	—	△273
配当金の支払額	△766	△763
財務活動によるキャッシュ・フロー	88	△1,361
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△68	△1,463
現金及び現金同等物の期首残高	3,378	3,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,310	2,351

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、アウトソーシング、人材派遣等の役務提供を主な事業としており、提供するサービスの特性から、報告セグメントを「ビジネスソリューション事業」、「人材ソリューション事業」の2つとしております。

「ビジネスソリューション事業」は、主に障がい者雇用支援サービス及び広域行政BPOサービス、ロジスティクスアウトソーシングサービス、環境経営支援サービスであります。その他、セールスプロモーション分野のアウトソーシングサービスや採用支援サービスも含まれております。

「人材ソリューション事業」は、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しており、主要な業務はオフィスサポート人材派遣事業と販売支援人材派遣事業であります。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

セグメント間の売上収益は、市場価格に基づいております。また、報告セグメントの利益は営業利益の数値であります。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年12月1日 至 2024年2月29日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ビジネス ソリューション 事業	人材 ソリューション 事業	計		
売上収益					
外部収益	2,812	2,845	5,658	—	5,658
セグメント間収益	14	6	20	△20	—
合計	2,827	2,852	5,679	△20	5,658
セグメント利益（注） 2	180	256	436	△410	25
金融収益	—	—	—	—	0
金融費用	—	—	—	—	39
税引前四半期損失（△）	—	—	—	—	△13

（注） 1. セグメント利益の調整額△410百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△410百万円であります。また、全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年12月1日 至 2025年2月28日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ビジネス ソリューション 事業	人材 ソリューション 事業	計		
売上収益					
外部収益	3,676	2,455	6,131	—	6,131
セグメント間収益	13	8	21	△21	—
合計	3,689	2,464	6,153	△21	6,131
セグメント利益（注） 2	552	161	713	△451	261
金融収益	—	—	—	—	0
金融費用	—	—	—	—	63
税引前四半期利益	—	—	—	—	198

（注） 1. セグメント利益の調整額△451百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△451百万円であります。また、全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。